

# 日刊建設産業新聞

## 2区にカラーコーンなど寄贈

横建協

横濱建設業協会(土志田領司会長)は15日、神奈川県と都筑区にカラーコーンとウエイト(計530セット)を寄贈した。(写真)

同協会と横浜市は、大規模地震等の災害時の協力要請と応急活動について協定を結んでおり、災害発生時に土木事務所と協働して早期対応できるよう、緊急輸送路沿道に資材置場を整備している。今回は、昨年度の瀬谷区に続いて、資材置場

に配備する資材の一部として寄贈した。同協会会議室で行われ



た贈呈式では、手塚文雄横濱市道路局長が「昨年

る。地域の安全を区会とともに守っていききたい」と述べたほか、土志田会長は「土木事務所と区会が連携を強め、市民の安心安全を守るよう取り組んでいく。他区にも順次つないでいききたい」と語った。また、二宮智美神奈川県長は「資材寄贈により訓練も充実する。情報発信し、安心安全に寄与していきたい」とし、畑澤健一都筑区長も「区会と組んで災害予防にも取り組んでいきたい」と謝意を示した。

## 高い安全管理意識

### 第45回横浜市公共建築工事安全パト実施結果報告会

#### 横建協、神空衛、浜電協、横浜市

横濱建設業協会(土志田領司会長)、神奈川県空調衛生工業会(川本守彦会長)、横浜市電設協会(矢口孝広理事長、横浜



市は15日、県建設会館で第45回横浜市公共建築工事安全パトロール実施結果報告会を行った。今回は、①安全な仮設物(足場等の転落落下防止措置、崩壊防止措置)②安

全な仮設電気設備③作業空間の安全な確保(作業場の整理整頓、通路の安全確保)④効果的なKY活動(作業者自身によるリスクマネジメントの励行)を重点目標とし、11月18日に市内9か所の現場を3班体制で点検した。

報告会の席上では、土志田会長(写真)が「今回の安全パトロールが、災害ゼロの達成と労働災害が生じないような快適な職場環境の実現につながるよう協力いただきたい」と挨拶。恵美須望横濱市建築局公共建築部長は「日頃の習慣の積み

重ねが安全管理につながる。好ましい習慣を柔軟に取り入れ、現場を客観的に見ることで事故防止につなげて欲しい。緊張感を忘れず、今後の繁忙期も安全管理に取り組み、無事故無災害で工事を終了して欲しい」と述べた。

このあと、横建協、神空衛、浜電協のパトロール班代表が、一部書類の不備改善すべき点について指導したものの、全体として安全管理に対する意識が高いと報告し、横山邦幸横濱市建築局公共建築部技術管理担当課長が講評を述べた。